

# Dr.松島のやさしいがん外来 〈第3話〉

## 「抗がん」で病勢を止め、「食治療」の態勢を整える

松島修司 東京・京都統合医療ビレッジ腫瘍外来



もあり、それらの治療を拒んで自然療法を始めました。そのため、肉類や油脂類を排除した食事療法を取り入れていたそうです。しかし、がん細胞はどんどん増大し、骨まで転移してしまいました。そこで、「やさしいがん外来」のことを知り、受診したのです。

私は、この患者さんのお話を傾聴した後、「免疫解析」を行い、きわめて弱っていた抗がん力の数値を提示しました。そして、患者さんが取り組んできた自然療法を尊重しながらも、現時点では不足している栄養素を卵や鶏肉などからも摂取し、がんと闘える体をつくることを勧めました。

2回目の診療では、低用量（通常量の3分の1程度）の抗がん剤を投与することを提案。ちなみに、「やさしいがん外来」でも、抗がん力の増強や副作用の軽減のために自己活性化リンパ球療法を組み合わせることも可能です。

私の提言を受け入れてくれた患者さんは、低用量の抗がん剤と超高濃度ビタミンC点滴療法を行いました。その結果、がんは一時期の8割程度の大きさに退縮。がんと闘える状態にステップアップし、これから「やさしいがん外来」の大きな特徴である「薬膳を基本にした食治療」に移行しようとしているところなのです。

まつしま・しゅうじ

帝京大学医学部卒業後、大学での研修のかたわら、星野泰三医師に師事し、免疫学について幅広い知識を得る。統合医療ビレッジ付属中央研究所にて、活性化リンパ球の培養および腫瘍免疫チェックに携わる。これら免疫療法を専門にしたがん治療に携わってきた経験と、生物学的なドックで体の状態や将来の予想を立てる腫瘍免疫チェックを生かし、現在、腫瘍内科での治療・免疫治療・温熱治療・ドック外来などを行っている。

私は、東京・千代田区の統合医療ビレッジの腫瘍内科において、がん治療に従事しております。この度、抗がん効果と気持ちの大切にする「やさしい」という言葉を冠した「がん外来」をスタートさせました。

今回は、その「やさしいがん外来」を受診した1人の患者さんのケースをご紹介します。

**負担の軽い治療でがんの勢いを抑え、体にやさしい治療を長く継続させる**

現在、日本では年間60万人の方が新たにがんと診断されています。そのうち、根治する方は約半数。つまり、完治が望めない方が約半数いらっしゃるということになります。「がん難民」という言葉があるように、抗がん剤で身も心もぼろぼろになってしまったうえに、

主治医から「現代医学では、あなたの病気は治りません」と余命を告げられる方々は少なくないのです。このような方々も対象にスタートさせた「やさしいがん外来」は、患者さんの体に負担をかけず、その立場に寄り添った治療を展開しています。

その新しく開設したばかりの外来を、1人の乳がん患者さんが受診しました。この患者さんはトリプルネガティブ（エストロゲン受容体・プロゲステロン受容体・HER2のどれも発現していない乳がん）で、当院を受診する1年半前に乳がんに罹患し、タキソールとTS-1を投与して寛解に漕ぎ着けたものの、その10カ月後に再発してしまっただけで、再発時、主治医から摘出手術と抗がん剤を勧められたようですが、再発してしまっただけで、脱毛や嘔吐などの副作用に苦しんだトラウマ

骨・リンパ節・肝臓転移ガンに驚くほど効く

## 星野式 温熱リンパ球治療

ガン細胞は熱に弱く、リンパ球は熱に強い。ガン細胞は正常細胞に比べて電気抵抗が大きい。スパークシャワーリンパ球療法は、この特性を生かして直接ガン細胞を攻撃するので、より強力で即効性があり、治療効果を発揮！ 税込1470円



## 医学ががんに勝利する日

分子標的治療薬の可能性 嶋本隆司・清水かほり 共著 税込1365円  
今まで「もうお手上げ」だったステージからでも、治療できる。

医学界注目!

メタモル出版 TEL 03-3234-5743 FAX 03(3234)5742  
http://www.metamor.co.jp 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-32 振替 00140-2-22218

【最新刊】 価値あるがん治療の新提案

## 5つの座標軸解析でダウンステージをめざせ!

戦略的に闘えば、がんに勝てます!  
100人のがん患者さんがいれば100通りの治療法がある。免疫力、抗がん力、腫瘍血管新生阻害、抗酸化力、腸内環境の整備という5つの座標軸をチェックし、がんの種類、ステージの違いにより、治療法を調整、まずはステージを下げることを目標にします。 税込1470円



星野泰三(医学博士・病院院長の本)